資料３

阿武隈川上流遊水地群地内利活用検討会　第３回検討会

第３回検討会の進め方・本日の話合いのポイント

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

1. これまでの主な意見と対応

(1)第2回検討会での主な意見と対応

主な意見	論点の分類
●利活用を夢物語にしない	①
●財源やリスク、課題の明確化	②
●営農の継続方法の検討	①
●フロートソーラー等の運用の検討	①
●河川占用料の減免の検討	②
●遊水地の安定的、継続的な管理運営の必要性	②
●ロードマップの必要性	②
●上下流連携の必要性	②
●VRの活用	③

第3回検討会での対応

●これまでの検討内容の紹介(論点①)

・試験ほ場の取組状況
・制度面、費用面の検討状況

●官民連携による地内利活用の進め方へシフトした経緯・内容の紹介(論点②)

・遊水地事業期間の延長
・今後の「検討の進め方・枠組・ロードマップ」
・官民連携の取組イメージ、概要、事例
・浜尾遊水地での先行的な取組状況
(関係団体や企業とのヒアリング結果)

●遊水地の理解、利活用の推進につながるVRの紹介(論点③)

・デモンストレーションと今後の活用方法

1. これまでの主な意見と対応

(2)第6回作業部会での主な意見と対応

主な意見	今後の対応
■今後の進め方 ・官民連携で利活用を行っていく方向性はよい（浜尾遊水地で試行して、そのノウハウを上流遊水地群に活かしていくことはよい）	・作業部会で合意が得られた今後の進め方について検討会の場で協議し、令和8年度以降の検討全体の進め方を明確にする
■検討にあたっての留意点 ・企業だけでなく自治体、学生、子どもたちの意見を聞いてほしい ・整備した姿を維持継続するにはどうすればよいかを考えてほしい ・今後も情報共有をお願いしたい	・官民連携の動向を含め、今後とも継続的に作業部会にて情報共有を行う ・ニーズについては企業だけでなく地域団体等も含め幅広い対象で把握することを検討する
■利活用の視点 ・地元に対してメリットになる利活用 ・3町村の価値観に応じた使い方 ・たい肥の有効活用など循環型の利用 ・景観上美しくなる遊水地整備	・頂いた視点も念頭に入れ、民間事業者等の意向調査を実施する ・作業部会の中では引き続き、利活用の前提となる各遊水地のあり方について検討する
■その他 ・堆積物のシミュレーションがあるとよい ・掘削や地形の変更が分かるとよい ・ソーラーパネルの設置による照り返しが分かるとよい	・VRの充実・更新において対応可能な内容を検討する

2. 第3回検討会の論点

論点①　これまでに検討してきた取組内容を共有する（情報共有）

- 第5・6回作業部会開催結果の共有 → ゾーニングのとりまとめ及び今後の検討の進め方に対する意見を共有
- 農地利用の取組状況の共有 → 試験ほ場結果を共有
- 阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの変更内容の共有 → 事業期間等の変更内容を共有

論点②　今後の地内利活用の進め方（案）について話し合う（協議事項）

- 地内利活用の枠組み（体制）と進め方 → 今後の進め方を明確にする
- 補足として官民連携の概要や保田遊水地事例を紹介 → 官民連携による取組イメージを共有

論点③　令和8年度以降の取組内容を話し合う（協議事項）

- 浜尾遊水地における官民連携の取組予定や令和7年度の取組内容を紹介 → 今後の浜尾遊水地において先行して取組む内容を明確にする
- VRのデモンストレーションと活用方法の紹介 → 充実・更新すべき事項や活用方法を明確にする